



新年を迎えるにあたり

国を挙げてのグローバル化が急ピッチで進む中、文化学園は国際ファッション産学推進機構を2011年7月に設立し、それ以来「ファッション分野における中核的専門人材養成の戦略的推進事業」を文部科学省より委託され、あるいは東京都などが主催する「Tokyo 新人デザイナーファッション大賞」の企画運営協力を行うなどしながら、様々なかたちでファッション産業を支える人材育成事業を行ってきました。

今年度も、上記事業などを行いながら、機構の主たる任務である、産業界と一体となった“人づくり”のパイプ役としての責務を推進するために、アパレル・ファッション業界の様々な団体や企業と文化学園各校との連携や、留学生を含む就職支援、さらには卒業生の起業のお手伝いなどもして参る所存です。

本年も変らぬご支援をお願いいたします。

フランスの繊維企業代表団が 文化学園を訪問



- ①② 文化・服装形態機能研究所で、衣服制作に必要な人体に関するデータを計測する機器の説明や研究の成果を聞く訪日団。
③④ 文化・衣環境学研究所の人体動態計測室で説明を聞く訪日団と、人工気候室内に設置された発汗ロボット。
⑤ 国際会議室で、意見交換をする訪日団と文化学園関係者。

フランス大使館貿易投資庁東京事務所とのミーティングを経て、フランスのテキスタイル業界の団体と企業で構成された「機能性繊維 訪日代表団」のみなさんが、文化・衣環境学研究所、文化・服装形態機能研究所、文化ファッションリソースセンターを訪問視察いただき、視察後は、文化学園大学の遠藤理事、文化服装学院の相原理事、野中理事らと意見交換を行いました。

訪問団と大使館からは、化学メーカー、アパレル、小売業など産業界の著名企業との連携を行っているふたつの研究所について高い評価をいただきました。